

チーム大蔵 (大蔵小学校だより)

～ 挨拶・笑顔・元気いっぱい 大蔵小学校 ～

第7号

平成28年9月16日
北九州市立大蔵小学校
文責 校長 花島 秀樹

○ 大蔵川クリーン作戦に参加しました。

9月3日(土)に土曜日授業として、「大蔵川クリーン作戦」に参加しました。

当日は、9時より体育館で環境ミュージアムの出前授業を実施し、指導員の方からお話やクイズを通して川の環境を守ることの大切さについて指導していただきました。その後、開会行事を行い、地域・保護者の方と一緒に決められた場所の清掃活動に取り組みました。

本年度は、本校児童及び保護者、地域の皆様、関係団体の皆様等、約640名の参加がありました。また、回収したゴミの量は、45Lサイズのゴミ袋で348袋に上りました。



環境ミュージアムの出前授業の様子



大蔵川の清掃活動の様子

今回の活動を通して子どもたちは、大蔵のまちの自慢の一つである大蔵川の自然環境を守ることの大切さを体験的に学ぶことができました。今後も、地域の一員としての自覚をもち、環境を守るためやよりよいまちづくりに向けて、自分にできることは何かを考え実践できる力を育てていきたいと考えています。

なお、今回の取組は、J:COM TV と西日本新聞で紹介されました。今後も本校児童の頑張りや地域のすばらしさを積極的に発信していきたいと考えています。

○ 9月13日(火)～14(水)に6年生が修学旅行に行ってきました。

6年生全員参加のもと一泊二日の修学旅行を実施しました。13日に学校を出発して、佐賀県の「吉野ヶ里歴史公園」へ。歴史公園では復元された竪穴住居や高床倉庫、物見やぐらなどを見学し、古代の人々の生活や知恵について学びました。その後、久留米市の福岡県立青少年科学館へ。科学館では、様々なコーナーをまわり、科学の楽しさや不思議さを体験的に学ぶことができました。久留米市内での昼食後、「大刀洗平和祈念館」を見学し、戦争に関する展示物を見たり、説明を聞いたりして平和の大切さを学びました。また、全校児童でつくった折鶴を渡しました。見学終了後、大分自動車道を通り、



吉野ヶ里歴史公園にて

宿泊先の「セントレジャー城島高原ホテル」に到着。夕食，入浴，買い物を済ませ，午後10時に部屋の明かりを消して就寝。二日目に備えました。

14日は，別府市内の「うみたまご」に向かい，海の生き物についての学習をしました。見学後，「セントレジャー城島高原パーク」へ。昼食後，活動班に分かれて約2時間乗り物やアトラクションで楽しみました。午後2時45分にセントレジャーパークを出発。午後5時前に学校に無事到着し，すべての日程を終えました。



青少年科学館にて



うみたまごにて

出発の数日前までは，2日間とも雨の予報が出ていましたが，初日は晴天，そして二日目は午前中に雨が降ったものの，「セントレジャー城島高原パーク」の活動時には奇跡的にも雨があがり，子どもたちはしっかりと活動を楽しんでいました。

今回の修学旅行では当初，集団行動のルールが十分に守られていないところが見られましたが，終盤にかけて集団行動のルールを守ることにに関して自覚ある行動が見られました。また，宿泊施設の部屋の整頓やゴミを残すこともなく，最上級生らしく，立派な態度で行動することができました。この修学旅行を通して，豊かな体験を積むとともに，集団生活のルールやマナーを守ることの大切さなど，たくさんのことを学んできました。この貴重な体験を今後の学校生活に生かしてくれるものと期待しています。

○ 学力・体力向上に向けた取組を推進しています。

本校では，これまで北九州市教育委員会の「オンリーワン事業」の研究指定を受け，総合的な学習の時間の実践研究を行って，問題解決能力や思考力，判断力，表現力を育てるとともに，地域を誇りに思う心を育む授業づくりを進めています。また，「子どもひまわり学習塾事業」と，新たに「授業力向上ステップアップ事業」に取り組むことを通して，より一層の学力向上に努めています。さらに，学級担任と指導方法工夫改善加配教員の前田陽子先生との協働による，子どもたちの多様な学習特性に応じた指導を行うことを計画しています。この取組の一例として，4年生の算数科「2けたでわるわり算の筆算」では，多様な学習特性に応じるとともに，児童選択を生かして，「ぐんぐんコース」と「のびのびコース」に学習集団を再編成して指導を行っていきます。今後も子どもたちの多様な学習特性に応じるとともに，児童選択を生かした指導を高学年に拡げながら，学力向上を図っていきます。

なお，体力向上については，本校独自の体幹を鍛える体力アッププログラムを開発して，「大蔵アイソメトリック」とネーミングしました。これらの取組と家庭学習に対する保護者の皆様のご協力を得ながら，学力・体力向上をより一層図りたいと考えています。